



令和7年10月30日発行  
 第61号 山形県立  
**米沢興譲館高等学校**  
 〒992-1443  
 山形県米沢市大字笹野1101  
 TEL 0238-38-4741  
 FAX 0238-38-2531  
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/index.php>

「SSH」×「UNESCOスクール」×「米沢興譲館」



校長 吉田直史

本校は、探究活動や海外の高校との連携などを通して、国際理解、平和、人権、環境、文化の多様性などに向き合ってきた。今年六月にユネスコスクールへの加盟が認定されました。ユネスコスクールとは、ユネスコの理念を学校現場で実践するために一九五三年に発足した国際的なネットワークです。加盟校同士が活発に交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すものとされており、世界一八〇の国・地域で約一萬校、日本では一七六校のみが加盟を認定されています。

学ぶのは「米沢興譲館」というステージ。二五〇年前の藩校興譲館創立の折に、学ぶ者の心得として定められた「学則」は、謙虚に学ぶこと、さらに誠実さや勤勉さが大切なことであると説き、知識や武芸を学ぶことはもちろん、高い志と高潔な人格形成を重んじています。先人たちの「人づくり」に対する真摯な思いは長い年月を経て今に受け継がれ、自他の生命を尊重し、己を磨き、誠を尽くし、世のために尽くすという興譲の精神は、私たちに、なぜ学ぶのか、何を身につけるのか、何を成すべきなのかを常に問いかけます。

SSHとユネスコスクールには、それぞれに認定を受けた学校だけが使用できるロゴマークがあります。二つのロゴを並べることができ、学校は全国でもごく少数です。加えて、私たちの学びのフィールドには、見えないけれど連続と受け継がれてきた大切な精神が息づいています。もう一つの大切なロゴです。

三つのロゴを自信と誇りに、自分の可能性をことごとく追求してみてください。挑戦してみてください。ロゴが目指す未来のステージで惜しみなく力を発揮し、大切な存在として活躍することを楽しみにしています。



赤ちゃん訪問授業（家庭基礎）



いろいろな制服

興譲館に来てまず驚いたのは、学校の雰囲気の良い、言わばノリの良さです。ガリ勉が多いというイメージがあったため、学校行事の際の盛り上がり方は衝撃的でした。行事ごとにドーパミンを貯めて生きる糧にしていきたいと思うくらいです。

また、なんといっても先輩方の勉強量や知識の量には敬服します。高校に入ってから、歩きながら本を読む「リアル二宮金次郎」を見ることが増え、それに触発されて、私も空き時間を活用するようにしています。時間は使い次第だと改めて気付かされました。

入学から約半年が経ったということに驚きが隠せません。学校に時々現れるお猿さんに笑われぬような濃密な三年間にしていきたいと思えます。

興譲館の空気に魅せられて

一年一組 高野太喜  
 (宮内中出身)



入学式

# 2年 探究科 夏の研修

## 国際探究科研修～英語による模擬国連演習～

私はこの夏休みに国際探究科で行われた研修合宿に参加しました。一日目の午前中には模擬国連を行いました。模擬国連では今まで学習してきたことを活かし話し合いを進めることができました。また今回のテーマは核軍縮だったので、国連ではそれぞれの国の立場がまったく異なるため解決するのはとても難しいことなのだと感じました。二日目と三日目は英語研修で一日中英語を使って会話をしました。英語をツールとして使い、交渉を行った議論をし、英語力を以前よりも高めることができました。



二年二組 須藤 凜川西中出身

## 理数探究科関西サイエンス研修

### 研修から学んだこと

二年一組 野原 果歩 (米沢二中出身)

私たちは、八月五日から七日にかけて関西サイエンス研修に参加しました。初日には班別自主研修を行い、各班が計画した訪問先にて研究活動に関する助言をいただきました。二日目と三日目には、SSH生徒研究発表会や理化学研究所などを訪問し、最先端の研究や実際の研究環境に触れる貴重な体験をすることができました。内容は専門的で高度なものも多くありましたが、自分の目で確かめ、研究者の方々の熱意あるお話を伺うことで、新たな視点や知識を得ることができたと思います。今回の研修は、科学への理解を深める



とともに、自らの進路や将来の学びについて考える大きなきっかけとなりました。

# 探究活動成果発表会

## 科学研究型 最優秀賞

## プロジェクト型 最優秀賞

**ヒメウコギを使ったスイーツの開発を通して**  
三年一組 大木 光 (宮内中出身)

私は、米沢の伝統的作物であるヒメウコギを使ったスイーツの開発に力を入れてきました。ヒメウコギは健康効果が高いのですが独特の渋みがあり、素材本来の良さを活かしながら味や見た目にこだわることには本当に難しかったです。試行錯誤を繰り返して、今年六月に地元菓子店のご協力でワークショップとしてようやく商品化することができました。商品化を通して、商品としての魅力や価値を他者に伝えるマーケティングの重要性も学ぶことができました。探究活動成果発表会や台湾研修などで多くの方に活動を知っていただいたり、販売会で実際にヒメウコギの味を感じてもらったりすることで、鷹山公が推奨したヒメウコギを「食べる歴史」として伝えることができ、とても嬉しく思っています。この経験で得た学びを今後活かしていきたいです。



### 探究活動を通して得た学び

三年四組 渡部 結衣 (高畠中出身)

この度の探究活動成果発表会では、絶滅危惧種のサンショウウオについて発表を行いました。この研究は私が小学生の頃から行っているサンショウウオの生態調査とサンショウウオに対する興味から行ったものです。より良い結果を導くためには実験の精度はもちろん、積極的に実験を進めたり仮説や結論を考えたりすることが本当に大変でしたが、研究をすることの楽しさを学べたと同時に多くの知識を得ることができ、とても大きな学びとなりました。私が長い間大事にしてきた研究だからこそ最優秀賞を受賞できたときは本当に嬉しかったです。全国SSH生徒研究発表会での発表を含め、この研究を通してより多くの人にサンショウウオと保全について知ってもらえたことが一番の成果です。



# 興譲館生 活躍の記録

# 開け未来の扉 中国総体2025(インターハイ)、かがわ総文祭2025(全国高総文祭)

## 新聞文化部 香川総文祭 経験と展望

三年三組 千葉 連 (米沢三中出身)

私はこの度、七月二十六日から二十八日にかけて香川県で行われた、第四十九回全国高等学校総合文化祭香川総文祭2025文芸部門散文分科会に参加してきました。初日は文学散歩、二日目にはメインとなる分科会、最終日に記念講演を聞いてきました。この三日間はとても濃密であったといって間違いありません。そんな総文祭を通して私は、文芸は作品である以上にツールだ、と気づきました。今にしてみれば文学散歩のバスの隣の人や分科会で顔合わせをした人も小説という名の文芸によって仲良くなれたのです。これから文芸を主とした道を進んでいくかはわかりませんが、どちらにせよ文芸の助けを借りつつ周囲と良い関係を築いていきたいと思えた大会でした。



## コーサーパーサイエンスクラブ 全国大会で得た学び

三年一組 土屋 心 宇 (長井北中出身)

私は七月末に香川県で行われた全国高等学校総合文化祭自然科学部門の研究発表の部(化学)に参加してきました。本番では緊張もあったものの、自分なりに一杯の発表をすることができました。質疑応答では質問者の聞きたいことを考え回答するとともに、発表で不足していた部分をできる限り補い理解してもらえよう努めました。自分の研究内容や発表の未熟な部分を痛感するとともに、全国のレベルの高い研究を見ることができ、多くの学びを得ることができました。コーサーパーサイエンスクラブでの活動の集大成ではあったものの、他校の発表を見て様々な改善点があったため、今回の経験を忘れずに今後の成長につなげていきたいです。



## コーサーパーサイエンスクラブ 新たな学びを得て

三年一組 富樫 和真 (米沢五中出身)

私は七月末に香川県で行われた全国高等学校総合文化祭自然科学部門の研究発表の部(化学)に参加してきました。本番では緊張もあったものの、自分なりに一杯の発表をすることができました。質疑応答では質問者の聞きたいことを考え回答するとともに、発表で不足していた部分をできる限り補い理解してもらえよう努めました。自分の研究内容や発表の未熟な部分を痛感するとともに、全国のレベルの高い研究を見ることができ、多くの学びを得ることができました。コーサーパーサイエンスクラブでの活動の集大成ではあったものの、他校の発表を見て様々な改善点があったため、今回の経験を忘れずに今後の成長につなげていきたいです。



## フエンシングクラブ インターハイに出場して

二年二組 石原 栞里 (高畠中出身)

私は今年の夏、フエンシング競技でインターハイに出場し、全国個人入場で第三位という結果を残すことができました。全国から集まった選手たちとの試合はどれも緊張感にあふれ、自分の力を試す貴重な経験となりました。一戦一戦を通して得た経験や達成感、これからの成長につながる大きな糧になったと思います。全国大会という特別な舞台に立ち、自分自身の限界に挑めたことは大きな誇りであり、大会後の自信にもつながりました。出場できたのは、これまで支えてくださった先生方や仲間、そして応援してくれた家族のおかげです。今回の経験は私の高校生活の中でかけがえのない財産となり、これからの人生においても必ず力になってくれると信じています。



## 吹奏楽研究クラブ 十六年間の思い背負って

三年四組 佐々木 凜 (米沢三中出身)

当クラブは、八月二十三日(福島県郡山市けんしん郡山文化センター)で行われた「第六十八回東北吹奏楽コンクール」に出場しました。十六年ぶりの出場ということもあり、OBOGをはじめ多くの方々に応援していただき本当にありがとうございました。今年度は顧問の先生を新たに迎え、演奏者四十七名を含む先生方など五十二人で力を合わせ、東北大会という大きな舞台に立ち、銅賞をいただきました。各県代表ともレベルが高い演奏が多く、たくさんの方々に吸収する機会となりました。また、私たちも本番では部員一人一人が思う存分表現し、音楽的に悔いが残らずに演奏することができました。これから新体制として、六十六、六十七期(現二、一年生)が中心となって活動してまいります。これまでのご指導に感謝申し上げます。今後ともどうか応援よろしくお願いたします。



## 合唱コンクール 3年2組最優秀賞!

三年二組 鈴木 由衣 (采沢七中出身)

私は三年間指揮者を務めました。今回の合唱ほどクラスが一丸となって楽しめた合唱コンクールはありません。正直なところ、今までは合唱はやる人とやらない人で分断していく後ろ向きな印象がありました。しかし、今年はクラスの誰もがステージ上で豊かな表情で歌っていました。それは念願の優勝を勝ち取れたことよりも嬉しかったです。



三年二組 二井 凜佳 (川西中出身)

「最優秀三年二組」と発表され、みんなの喜びが爆発したあの瞬間は一生忘れない記憶になりました。私は伴奏者の立場で、練習を重ねるにつれてきらめいていくみんなの歌声に心が震えました。本番では、ホールいっぱい三二色の虹がかかったように言葉では言い表せない高揚感を味わいました。そんな経験をさせてくれた三年二組のみんなには心から感謝しています。

## 体育祭

### 賞状0枚からの大逆襲

三年三組 渡部 夢人 (采沢四中出身)

私達は去年の体育祭での競技も決勝トーナメントに行けず、見事に賞状が0枚でした。「次こそは賞状を取るぞ」と意気込んで今年の体育祭を迎えました。去年悔しい経験からやる気に満ち溢れていました。普通科文系クラスで男子が少なすぎて、他のクラスよりも不利な状況でした。しかし、持ち前の団結力と下剋上の精神で次々と他のクラスに勝ち、なんと全競技決勝トーナメントへ勝ち上がり、終わってみれば賞状が七枚、総合優勝という素晴らしい結果となりました。みんなが全力で応援し、チームワークを発揮して優勝でき、高校生活で一番の思い出となりました。このチームワークで大学受験でも思い通りの結果が残せるよう、全力で頑張ります。



## 興譲祭 theme/馬鹿ンス

### 六〇〇人のバカンスと青春

三年一組 穴戸 孝成 (采沢二中出身)

こんにちは。興譲祭実行委員長です。興譲祭は全員力を合わせて取り組むことができ大成功でした。それは、一つの目標に向かって努力することができた仲間のおかげであり、一致団結することができたからだと思います。ありがとうございました。短い期間の中で準備を進めてきましたが、笑顔や驚き、そして大きな感動に包まれた二日間の興譲祭は世界最高の芸術作品となったのではないのでしょうか。一人ひとりの心に刻まれ、一生の思い出になったことは間違いありません。最高の興譲祭を作り上げることができ、大変嬉しく思います。最後に、全校生徒の皆さん、先生方、お越しくくださった皆様本当にありがとうございました。来年度もぜひご期待ください!!

